

古代ハス(大賀ハス)が今年も見事な花を咲かせました！

千葉市立花園中学校
校長 三橋 通応

6月1日より、分散登校ではありましたが、学校が再開されました。8日からは、給食も始まり、全員がそろって一日の学校生活がスタートし、ほぼ通常の生活となりました。

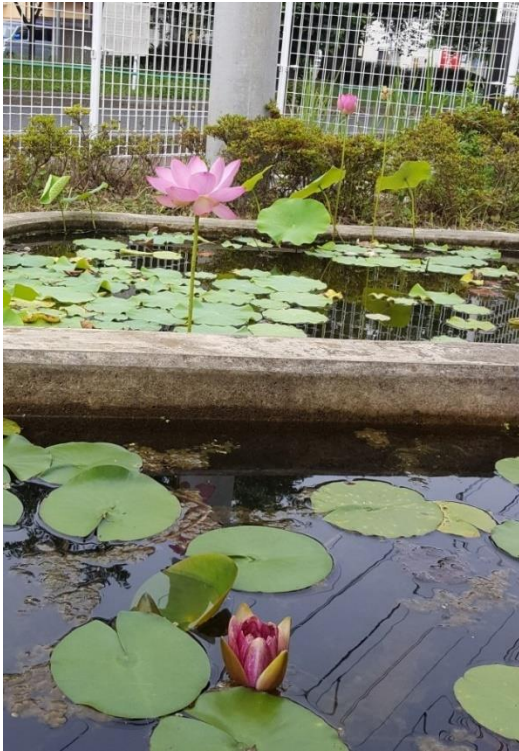
子どもたちの表情には、久しぶりに仲間と過ごす生活や授業が開始されたことで、安心感が感じられ、活力が戻ってきたように思います。

長期の休校により心配されていた心や身体の健康にも、大きな支障なく過ごせているように感じられます。一人一人の「頑張ろう」という姿勢が、「自主・協力・実行」の本校の生徒指標を体現しているのだと思っています。

全体としては概ね良好なスタートが切れたと思っておりますが、これまで子どもたちが置かれていた環境を忘れずに、個々の表情や言動に注視し、一人一人の内面の表情に留意しながら必要に応じて適切に支援してきたいと思っています。また、社会全体が「新しい生活様式」に移行していく中で、十二分に校内においてもそれを意識していかなければならないものと思っています。



そして、中学校生活において、大きなウエイトを占めるものの一つであります部活動について、6月22日より段階的に再開していくことが決まりました。詳細については、各部ごとのミーティングや御家庭あての文書でお知らせいたします。しかし、その中で、最も心が痛むのが、現3年生の処遇です。総合体育大会やコンクール、発表



会が中止となる中で、大きな目標を失ったばかりでなく、活動する時間に大きな制約ができてしまったことです。中学校に入学し、仲間と同じ目標に向かい、日々努力してきたものが最後の最後で結実できなかったことに申し訳ない気持ちでいっぱいです。今後、短い時間ですが練習に臨む生徒、また、区切りをつけて次の目標に向かう生徒とそれぞれだと思いますが、子どもたちがこれまで一生懸命に取り組んできた足跡は消えることはありません。自身の糧として今後も誇りをもって歩いていってくれることを願っています。そして、自分は中学校時代「〇〇部で頑張ったんだ」と胸を張って言ってほしいと思います。

学校が再開されたちょうどそのころ、本校のハス池に大賀ハスが大きなつぼみを付けました。そして、次々に三輪のハスの花が開花しました。私が着任してから、三輪の開花は初めてです。また、隣のハス池にも古代ハス「知里

の曙」がつぼみを付けています。道行く方々も足を止め、ハスの花を見てくれています。コロナ禍の今年、それは「コロナに負けるな」と励ましてくれているかのようです。

ハスを開花させることは、とても大変なのだということを私は知りませんでした。年間を通して池の掃除をし、冬場から定期的に肥料を与えたり、藻などを取り除く作業を繰り返したりしなければなりません。そのお世話を中心となって尽力していただいているのが「大賀ハスふるさとの会」の方で、本校に隣接するクリーニング店の佐藤様です。佐藤様は、本校だけでなく花園地域の古代ハスのお世話を献身的にされている方です。本当にありがとうございます。また、本校生徒も大賀ハス育成委員会を組織し、年間を通して池の掃除などを行っています。これらの活動はこの季節に開花する美しく愛らしいハスの花と出会えることを楽しみにして行っているのです。開花はとても短い期間ですが、この花にはそのような多くの思いが込められ、長く引き継がれてきています。大通りの交差点に面したところにハス池がございますので、近くをお通りの際はこのハス池に目を止めていただけたら幸いです。

